



津幡町立太白台小学校

# のびる太白台

学校だより  
6月号  
R6.5.31

校訓：進取 誠実 敬愛 ～よりよく学び 心豊かに たくましく～

「形」は「心」をつくり、「心」は「形」をつくる

校長 本山 充

「形」は「心」をつくり、「心」は「形」をつくるという言葉があります。始めに所作や行動といった目に見えるものの形から入り、それを整えていくことで、心が充実していきます。心がつくられ整ってくると、また良い形となって表に現れてくるということです。

このことについて保護者や地域の皆様はどのようにお考えでしょうか。特に前半の「形は心をつくる」というところです。形だけをむやみに押しつけても心が伴うとは限りません。あるいは、それを強制することで、かえって自分で考え、行動することができなくなるのでは等、いろいろなご意見があるかと思いますが、特に幼少期から義務教育段階においての心をつくり耕す方法の1つとして有効なのではないかと思えます。

右の写真は1年生の下足箱です。毎朝、数名の1年生が自分たちのクラスの下足箱を見て、踵のそろっていないズックの踵をそろえてきれいに並べています。私が朝のあいさつ運動を終えて、低学年玄関を通るとき、きちんとそろえられた外履きズックを見るとさすががしい思いがしますし、大変気持ちのよいものです。整然とそろえられた「形」が自分だけでなく他の人の心を洗っている例だと言えます。



後半の「心は形をつくる」については、皆様も納得されることと思えます。「心」そのものは見えませんが、心のあり方、ありようはその人の言動を通して、見るができるということです。

最後に、長野市の円福寺の和尚さんだった藤本幸邦さんがつくった詩を紹介します。

はきものをそろえる

はきものを そろえると 心もそろう 心がそろうと はきものもそろう  
ぬぐどきに そろえておくと はくどきに 心が みだれない  
だれかが みだして おいたら だまって そろえて おいて あげよう  
そうすれば きっと 世界中の 人の心も そろうでしょう

## 町器械運動交歓会（4年生）

5月29日（水）に町器械運動交歓会が行われました。ほとんどの児童が今までの中で最高の演技だったと思います。4年生のみなさん、練習から本番まで本当によくがんばったと思います。

